Krahrin

```
L27 ANSWER 32 OF 48 CAPLUS COPYRIGHT 2003 ACS
     1981:516495 CAPLUS Full-text
DN
     95:116495
TI
    Heat stabilizers for halogen-containing resins
    Nakagawa, Takayuki, Japan
PA
     Jpn. Kokai Tokkyo Koho, 4 pp.
     CODEN: JKXXAF
DΤ
     Patent
     Japanese
LΑ
FAN.CNT 1
     PATENT NO.
                     KIND DATE
                                          APPLICATION NO. DATE
PI
PRAI JP 1979-131212
                     ----
                                         -----
                                                          -----
                          19810516
                                         JP 1979-131212 19791011
                     A2
                           19791011
AB
      The heat resistance of halogen-containing resins, e.g., PVC [ 9002-86-2], vinyl
      acetate-vinyl chloride copolymer [9003-22-9], and ethylene-vinyl chloride copolymer
      [25037-78-9], is improved by addition of polyglycols, e.g., polyethylene glycol
      [25322-68-3], and ethylene glycol-propylene glycol block copolymer [9003-11-6], and \beta-
      diketones, e.g., acetylacetone [123-54-6], benzoylacetone [93-91-4], and p-
      methoxystearoylacetophenone [60462-06-8].
     9002-86-2
     RL: USES (Uses)
        (heat stabilizers for, polyglycols and diketones as)
     25322-68-3
     RL: MOA (Modifier or additive use); USES (Uses)
        (heat stabilizers, containing diketones, for vinyl
        chloride polymers)
```

(3) 日本国特許庁 (JP)

10特許出願公開

②公開特許公報(A)

昭56-55445

⊕Int. Cl.³ C 08 L 27/00 C 08 K 5/07 // (C 08 L 27/00 71/00) 識別記号 CAB 庁内整理番号 6946-4 J 砂公開 昭和56年(1981)5月16日

発明の数 1 審査請求 未請求

6911-4 J

(全 4 頁)

のハロゲン含有樹脂組成物

创特

願 昭54-131212

20出

留 昭54(1979)10月11日

@発 明 者 中川孝之

3番地 ②出 願 人 中川孝之

三重県三重郡菰野町大字音羽83

三重県三重郡菰野町大字音羽83

3番地

明 梅 书

1. 発明の名称

ハロゲン含有樹脂組成物

2. 特許請求の範囲

ハロゲン含有樹脂にポリグリコールの少なくとも 一種及び一般式ので示される3ージケトン化合物を 添加してなることを特徴とする安定化されたハロゲ ン含有樹脂組成物。

(式中、 R. 及びR. は、アルキル、フリール、アルキル フリール基を示し、 R. は水岩原子、又は一CO-R. を示す。 R. はアルキルスはブリール茲を示す。)

3. 発明の詳細な説明

本発明は安定化されたハロゲン含有樹脂組成物に関する。更に本発明は新規の安定剤組成物を含有する安定なハロゲン含有樹脂組成物に関するものであり、ハロゲン含有樹脂に対し、ポリグリコールの少なくとも一種及びタージケトン化合物を添加してなる安定化されたハロゲン含有樹脂組成物に関するものである。

一般にハロゲン含有側筋はその使用目的に応じてカレンダー加工、押出し加工などの熱成形加工を行なう、この際に主として鋭ハロゲン化水素に起因する熱分解を起しやすく、このため加工製品の機械的性質の劣化、色質の悪化を生じ側脂本来の特性が低下する。従ってこれを防止して安定化する目的で従来から種々の金属塩安定剤を主体とする安定化剤を依加配合することによってハロゲン含有側脂を安定化してきた。

そして従来の金属安定剤は、カドミウム・パリウム ム又はカドミウム - 鉛 - パリウムほどの組合せに有 棚類リン酸エステル、フェノール系化合物、エポキ

(1)

16期間56- 55445(2)

ン化合物などを併用添加してハロゲン含有樹脂組成物の安定化を試みているが、カドミツムや鉛素の金属安定剤は毒性が強く、現在ではその使用は大きる 制限されている。従ってこのカドミウムや鉛系の金属安定剤を使用せずに金属石庫又は非金属安定剤等を用いてハロゲン含有樹脂の無劣化を防止し安定化しなければならない。

しかし、とのような方法では、ある程度の熱安定性は得られるが、カドミウムや鉛系の食器安定剤を 用いた場合化比べて熱安定性は満足すべきものでは ない。

本発明者はこの医療性又は無意性安定制限収物に おける前述の欠点を解決すべく投資研究した結果、 熱による劣化に対して考れた安定性を有するハロゲン含有樹脂組成物を開発することに成功したもので ある。

すなわち本発明はハロダン含有樹脂にポリグリコールの少なくとも一種及び一般式(1)で示されるβー リケトン化合物を添加してなることを特徴とする安 定化されたハロダン含有樹脂組成物に関するもので

ドーメトキシステアロイルアセトフェノン、トリベンゾイルメタン、ステアロイルアセトン等が挙げられる。

本発明の削記各成分の胚加量はハロゲン含有樹脂100 乗換部に対してポリグリコールの量は 0.01~8.0 低量部、好ましくは 0.05~1.0 重量部が適当である。 又メージケトン化合物の量は 0.005~3.0 重量部、好ましくは 0.01~1.0 重量部が適当である。

又本発明の組成物に対して、金属石融製の併用が可能である。この場合の金属成分の例としてはLi、Na、K、Ca、Ba、2n 等があり、 有機酸残器としてはカルボン酸及びフェノール残器がある。

本発明に使用される会ハログン側距にはポリ塩化 ビニール、塩化ビニル一酢酸ビニル共重合体、塩化 ビニルーエチレン共産合体及びポリ塩化ビニルと共 O O N N - C - OH - C - B, (U

ある。

(上式中R, 及びR, はアルキル、フリール、アルキルア リール、蓋を示し、R,は水葉原子、又はCO-R,を 示す。R,はアルキル又はアリール基を示す。)

本発明を更に詳しく説明する。本発明で用いられるポリグリコールとしては、ポリエチレングリコール(以下PRGと称す。) ポリプロピレングリコール (以下PPGと称す。) ポリエチレングリコールとポリブロピレングリコールのプロックポリマー等が挙げられる。これらポリグリコールの異ましい分子量は400~40,000 好ましくは2000~2000 である。例知

制記一般式(I) で示される代表的なタージケトン化合物としては、アセチルアセトン、ペンダイルアセトフェノン、ジベンダイルメタン、ステアロイルアセトフェノン、パルミトイルアセトフェノン、9 ウロイルアセトフェノン、14 ージフェニルブタン 14 ージオントルオイルアセトン 19400

重合体、例えばアクリロニトリルーブタジェンース チレン共置合体、アクリロニトリルーブタジェン共 置合体、エチレン一酢酸ビニル共気合体などの配合 品がある。

次に本発明を実施例によって具体的に説明するが 本発明はその受賞を超えない限り以下の実施例に翻 約されるものではない。

実施例 (1~18)

本発明による安定剤系の効果をみるために、次の配合物をカレンダー加工して厚さ1mのシートを作成し とのシートから15×15m寸法の試験片を切り取り190 このギャーオープンテストを行った。無劣化の変化を ロビボンド比色計を用いて調べた、その結果を表ー2 に示す。

(配合)

at.	ŋ	也	Æ	r.	=	N	樹	脂			0 0 0,1	•
ス	チ	7	ŋ	×	鮻	ħ	r	>	'n	٨	5	5
2	9	7	'n	ン	級	亜	斜				4	•
ý	A.	1	÷	N	7	9	v	-	ŧ		500	9
I	+	*	v	化	大	百	油				25	9
							"					

(3)

安定化助剤(表一1)

- I

没真例	安定 化助剂
1	H & h
2	PEG (平均分子量 10,000) 109
	PPG(平均分子数 4000) 10 #
- (<
6	スチアロイル アセトフェイン 19
6 -	PEO(で母分子数 10,000) 5月 +ペンゾイルアセトン 0.5月
1	PEO(*) 10 9 + <> > 1 9
8	PEG(#) 50 # + < > > 4 F + < > > 5 F
	PEO(平均分子費 2000) 10 f + ペンゾイルアセトン 1 f
10	PEG(平均分子量 10,000) 10 9 + ジベンゾイルノタン 1 9
11	PEG(") 10 9 + 27 TO (ATT + 19
12	PEG(") 109 + 19 < >74 / 19 × 19
18	PEG(") 16 \$ + P-/ \ \ P \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
14	PEG: ") 109 + N#4 N7 % > 19
15	PPG(平均分子章 4000) 10 9 +ペンゾイルアセトン 1 9
16	PPO(平均分子級 2000) 10 F+ スナアロイルアセト フェイン 1 F
17	PRG. PPGブロッタボリマー(PEG70 メ 平均分子量 5.000)
18	10 9 + < × √ √ A × 7 + 1 × 1 9
	PEO. PPGブロックポリマー(『ECG40 多平均分子量 4860) 10 F + ベンゾイルアセトン しま

(1)

(化合)

ポリ塩化ビニル樹脂	1.000 9
ステブリン酸 カルシウム	5 9
ステアリン酸亜鉛	5 0
トリスノニルフェニルホスファイト	10 9
エポキン化大豆油	20 🕫
安定化助剤(表一3)	

- 8

尖雕例		¥	æ	t	助	м	
19	9 55	ja et					
20	PEO(=5	分子員 20	(00 0,	10 9			
21	ステアロイル	7417.	12	1 9			
22	PEG(#4	分子盆 2 0	(000	10 F +	~>11	ルアセトン	1 9
23.	PEO(*)	10 F +	ステアロ	イルナセト	1 9
24	rea(3	10 # +	F 9 ~ >	442192	19
ಶ	PPG(平均:	H 子 ₽, 6.	000)	10 9 +	~~!1	ルアセトン	1 9
26	PEO. PPO	70,9				崎分子被 8.00	0)
				10 9 + -	×>11	レアセトン	18

量 - 1

***	X 分包	10 2 5 -	42779	× (GNa)	
X # P	知問書き	\$ 9	15 £	30 //	60 #	120 分
1	5	7	10	18	15	8.8
2	4	6		11	18	1.5
	4	•	9	11	1.4	1.5
4	3	4	•	6	11	18
6	z		5	8	10	12
6	1.6	2	8.5	ь	8	1 0.5
T] ,]	2			7	9.5
8	1	1.5	2	4	•	9
9	,	2		6	,	10
10	1 1	2		5	,	10
11	1	15	2.5	4	1	•
12	1	2	2	5	-7	10
18	1	2		2.0		10
14	1	2	2.5	5.5	7	10
15	1	2		•	•	•
16	ı	2.		5	,	10
17	ı	2	3.5	6		1 0.5
18	ı	2	8	5	7	10

実施例 19~26

次の配合で実施例)~18と同様に試験を実施した。 得られた結果を表一4に示す。

:81

. k - (

突重例	※分装のコラーインデッタス (ON◆)									
* E	初期者を	6 ±	-15 S 7	30 分	60 #	120 #				
19	5	•	9	12	1 5	A C				
20	1 4	6	8	11	1.9	1.5				
21	2.5	4	6	6	1 2	14				
22	1.5		5	. 7	8	10				
23	1	2	8	5	7	9				
24	1.5	2	3	6	7	1.0				
25	1.5	2	3.5	5	,	1 0.5				
26	1 1	2	8	5	8	13				

灾推例 27~

次の配合で実施費:~ 18 と同様に試験を実施した。 得られた結果を表一 6 忙示す。

(配合)

ポリ塩化ビニル樹脂	800 #
塩素化ポリエチレン	270 9
アジピン酸ジオクチル	320 🕫
ステアリン庫 ローブチル	15 🕈
ステアリン量 カルシウム	6 9
ステアリン産亜鉛	5 0
民酸 カルシウム	10 9
安定化助器(表一 6)	

191

. - :

火装件		寮	Ź	Ł	10	展	
20	a 6 b						
28	PEO(华均分	子數	4,000)	10 7			
29	ラクロイルアセ	17	1/2	1 9			
30	PEO(#44	子鼠	4,000)	10 5	· ~ > /	イルナセトン	159
31	PEG ()	12 7	- 500	イルアセトフェノン	19
32	PEG(*	>	12 #		2/1 N332	29
33	P&G. PPG	70,	9.49	- (PE	2025 \$	マロ分子性 5. イルアセトン	800) 1 <i>8 f</i>

* - 4

	X分後のカラーインデックス (GNa)									
安美例	初起書色	5 分	15 分	38 D	60 st	120 分				
21	5	7		12	15	# E				
28	" 4	6	8	11	13	15				
29	2	4	6	9	11	1 4				
30	1	2	4	7	9	12				
31	1	2			8	10				
32	i.5	2	4	•		11				
33	1 1	2	8.5	6	8	11				

an